

# 今週のKinoppy新着情報一 学術書・教養書

書籍画像をクリックしますと、書籍詳細ページへリンクします。



## あなたの体は9割が細菌 微生物の生態系が崩れはじめた

アランナ・コリン【著】矢野真千子【訳】 税込 ¥1,944 (紙の書籍 ISBN:9784309253527 2016/08刊)  
河出書房新社

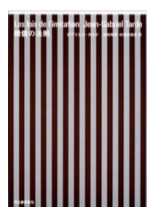
あなたの健康を維持している体内微生物の生態系が破壊され、さまざまな問題を引き起こしている！最新の科学的知見をもとに、微生物生態系のしくみと健康との関係を解き明かす決定版！



## おなかの赤ちゃんは光を感じるか(岩波科学ライブラリー)

太田英伸 税込 ¥1,404 (紙の書籍 ISBN:9784000296335 2014/12刊)  
岩波書店

胎児は子宮の中で脳を使って光を感じ、(生物時計)を動かしている。著者らは、近年発見された明暗情報を脳に伝える光受容体メラノプシンが胎児期に最も早く機能しはじめること、赤ちゃんの成長に明暗環境が重要であることを明らかにし、早産児の睡眠をコントロールして発達を促す「調光保育器」を開発した。



## 模倣の法則 新装版

ガブリエル・タルド【著】 税込 ¥5,292 (紙の書籍 ISBN:9784309247724 2016/08刊)  
池田祥英/村澤真保呂【訳】  
河出書房新社

発明と模倣／差異と反復の社会学をつくりだし、近年、全世界で再評価される忘れられた大思想家・タルドの主著にして歴史的な名著、新装復刊。



## 極値統計学

高橋倫也/志村隆彰【著】 税込 ¥4,536 (紙の書籍 ISBN:9784764905153 2016/08刊)  
近代科学社

ものを正當に怖がるための道具 極値統計学。極値統計学とは、豪雨、強風などの極端な自然現象や、ファイナンスなどでリスク評価のために応用される統計手法である。一般に統計学では母集団の中心に対する推測を行う。しかし極値統計学は、極端な現象、すなわち、母集団分布の端(裾)に対する推測を行う。そこには、上述したような極端な現象が存在し、リスク対応やピークの世界—自然災害、ファイナンス、保険、情報通信、生物学、スポーツ—で求められ、活用されている。本書は導入から書かれており、また、演習問題はRを活用して、具体的に理解出来るよう工夫してある。極値統計学を学ぼうとする学生や実務家には、必携の書である。



## 3.11後の叛乱 反原連・しばき隊・SEALDs(集英社新書)

笠井潔/野間易通【著】 税込 ¥648 (紙の書籍 ISBN:9784087208405 2016/07刊)  
集英社

70年安保闘争以来、およそ半世紀近くの時を経て、路上が人の波に覆いつくされた。議会制民主主義やマスメディアへの絶望が、人々を駆り立てたのか。果たしてそれは一過性の現象なのか——。新左翼運動の熱狂と悪夢を極限まで考察した『テロルの現象学』の作者・笠井潔と、3.11後の叛乱の“台風の眼”と目される野間易通が、反原連、しばき隊、SEALDsを始めとする現代の蜂起に託された、時代精神を問う！

【目次】はじめに/第1章「8・30」の光景を前に 笠井 潔/第2章 雲の人たち 野間易通/  
第3章 「何者かである私」と「何者でもない私」 笠井 潔/第4章 国民なめんな 野間易通/  
第5章 ピープルとネーション 笠井 潔/第6章 レイシストをしばき隊のこと 野間易通/  
第7章 大衆蜂起と結社 笠井 潔/第8章 人々を路上へドライブするもの 野間易通/  
第9章 <2011>と「左翼」の終わり 笠井 潔/第10章 Struggle For Pride 野間易通/あとがき



## 社会科学としての経済学(ちくま学芸文庫)

宇野弘蔵 税込 ¥1,134 (紙の書籍 ISBN:9784480097309 2016/06刊)  
筑摩書房

資本主義のメカニズムを明らかにするために、経済学はどこまでも科学的でなければならない。戦後のマルクス研究を主導した宇野弘蔵。彼は教条的な『資本論』読解を批判し、純粋な科学として再構成することを企てた。本書では、経済学が取り組むべき根本課題から語り起こし、自然科学と社会科学の違い、マルクス理論の核心を踏まえ、三段階論に代表される自らの理論を紹介していく。さらにマルクスの一連の著作をコンパクトにまとめた論考も収録。今日の資本主義を分析するために、マルクスをどう活用できるのか。その可能性がもっとも明快に示された一冊。



## 新ディズニーランドの空間科学

山口有次 税込 ¥2,808 (紙の書籍 ISBN:9784762025099 2015/03刊)  
学文社

ゲストをもてなし楽しませるディズニーランドの“集客技術”を空間科学的に徹底分析。さらに進化する空間的仕掛けづくりは、さまざまなサービス産業にも役立つ知識の宝庫。この驚きのノウハウを知れば知るほどますます夢と魔法の王国に魅了される改訂増補版。

書籍画像をクリックしますと、書籍詳細ページへリンクします。



**学校組織の信頼**

露口健司 税込 ¥3,024 (紙の書籍 ISBN:9784864291682 2011/10刊)  
 大学教育出版

学校組織を対象とした「信頼研究」の書。学校組織における信頼(あるいは信頼される学校づくり)という、実践レベルでは極めて高い関心を抱かれている事象について、実証的な方法で切り込んだ一冊。



**高校生・受験生・大学生のための中堅大学活用術**

宇田川拓雄【編著】 税込 ¥1,944 (紙の書籍 ISBN:9784864292764 2014/10刊)  
 大学教育出版

大学の紹介は、偏差値を基準とした大学選び、就職実績による大学選びとして多く目にするが、大学教育のコアな部分をわかりやすく解説したものは少ない。普通の学生が大学で何を学び・獲得し、どのように活用するかその知恵を紹介。



**図書館の再出発 —ICU図書館の15年—**

畠山珠美/浅野智美/久保誠/黒澤公人/松山龍彦【著】 税込 ¥2,160 (紙の書籍 ISBN:9784887307964 2007/12刊)  
 大学教育出版

21世紀の国際基督教大学図書館の基礎を築いたともいえる新館建築計画から新館運営が軌道にのるまでの15年間。本書では、この間の「図書館」という建物の変化、図書館サービスの変化、図書館員の意識の変化について、当時の責任者が12章にわたって記録。



**嫌韓問題の解き方 ステレオタイプを排して韓国を考える(朝日選書)**

小倉紀蔵/大西裕/樋口直人【著】 税込 ¥1,188 (紙の書籍 ISBN:9784022630476 2016/06刊)  
 朝日新聞出版

韓国人と日本人は何が違うのか。韓国の哲学・政治・社会にはどのような特質があるのか。韓国人の意識構造から特有の社会システムを解き明かす。嫌韓論調が引き起こしたヘイトスピーチのデータ分析など気鋭の3学者による画期的韓国論。



**イタリア現代史 第二次世界大戦からベルルスコーニ後まで(中公新書)**

伊藤武 税込 ¥831 (紙の書籍 ISBN:9784121023568 2016/01刊)  
 中央公論新社

19世紀半ばに建国したイタリア王国は、ファシズムの台頭と第2次世界大戦の敗戦を経て、1946年に共和国へと生まれ変わる。デ・ガスペリらが主導する戦後復興を経て、50年代に高度経済成長を実現したものの、その後の歩みは平坦ではなかった。モロ元首相の誘拐・暗殺事件に代表される左右のテロや横行する汚職、そして繰り返される改革の試みと挫折……。70年戦後の歴史をたどり、この国の相貌を描き出す。



**葬儀と日本人 位牌の比較宗教史(ちくま新書)**

菊地章太 税込 ¥702 (紙の書籍 ISBN:9784480066176 2011/08刊)  
 筑摩書房

無宗教といわれることの多い日本人。だが、葬儀を行ない、時をさだめて墓参し、礼をつくして先祖を祀るのは、私たちの多くが靈魂の存在を漠然とでも感じているからだろう。葬儀のかたちは古代中国の先祖祭祀に由来する。紀元前二世紀、葬式の原型が儒教によってつくられた。以来二千数百年、儒教・道教・仏教が複雑に絡まりあい、各宗教が「先祖を祀る」という感情に回収されていく。本書では、葬儀と位牌の歴史をたどることによって、民族の死生観を考えてゆく。



**「理科」で歴史を読みなおす(ちくま新書)**

伊達宗行 税込 ¥756 (紙の書籍 ISBN:9784480065223 2010/04刊)  
 筑摩書房

歴史を動かしてきたのは、政治や経済だけではない。数学的知識、暦の作り方、冶金技術など広い意味での「理科力」こそ、人間を人間として進歩させてきたものなのだ。縄文時代の天文学、世界最高水準の技術で作られた奈良の大仏、古代日本人の数学的センスがかいま見える万葉集。ギリシア以来の「アルス」のあり方…。人類の「これまで」と「これから」を理科の視点から眺望する。



**芸術立国論(集英社新書)**

平田オリザ 税込 ¥648 (紙の書籍 ISBN:9784087201123 2001/10刊)  
 集英社

日本再生のカギは芸術文化立国をめざすところにある！著者は人気劇作家・演出家として日本各地をまわり、また芸術文化行政について活発に発言する論客として知られる。精神の健康、経済再生、教育等の面から、日本人に今、いかに芸術が必要か、文化予算はどう使われるべきかを、体験とデータをもとに緻密に論証する。真に実効性のある芸術文化政策を提言する画期的なヴィジョンの書。

【目次】まえがき/序章 芸術の公共性とは何か/第一章 地域における芸術文化行政/  
 第二章 経済的側面から見た芸術文化行政/第三章 教育と芸術文化行政/  
 第四章 文化権の確立/第五章 文化行政の未来/終章 芸術の未来/あとがき

研究者・図書館・法人のお客様のためのオンラインストア

紀伊國屋書店 BookWeb Pro  
<https://pro.kinokuniya.co.jp>



紀伊國屋書店電子書籍アプリ Kinoppy



お問い合わせ先: BookWeb Pro課  
 Mail: bwpro@kinokuniya.co.jp  
 Tel: 03-6910-0527 Fax: 03-6420-1370